

を試みた。

## 六、まとめ

(3) 課題を解決する学習の中で、みんなで話し合う活動を大事にした。

○自分の考えが相手にわかるように大きな声で、はきはきと話すように心がけさせた。

(2) 個に応じた指導に迫るための手立ての工夫

○「理解」領域、「表現」領域の基礎的技能を明確にし、読んだり、書いたり、話したりする活動の学年別児童像をつくり、個に応じた指導のための記録へ生かした。

(1) 本時のねらいを個に即して設定し、一人一人を生かしてきた。  
○ 本時のねらいを、上位児、中位児、下位児別に設定し、それに対応する児童一人一人の評価の観点を設け、一人一人に応じた指導がより効果的になされるよう配慮し、授業の改善を試みた。

(2) 「個に応じた指導のための記録」を作成し、一人一人の実態の把握に努めた。(表3参照)

○ 単元を通して、毎時間ごとに、「個に応じた指導のための記録」へ記入し、一人一人の到達の状況を把握し、フィードバックして遅れがちな子への指導に生かしたり、次時への指導に生かしたり、次時への指導に役立てたりして、授業の改善や次単元からの指導に生かした。

(3) 個別指導を通した個に応じた指導の機会と場を設け、一人一人を伸ばすようにした。

○ 一人一人に同じ視点で発表させたり、一人一人の実態に応じて、違う観点で発表させたりして、能力に応じた指導がなされるよう授業の改善を試みた。

(2) 個に応じた指導に迫るための手立ての工夫

○ 「ひとり学習」と「相互学習」を位置づけ、関連を図りながら学習を深めるようにした。

○ 相互学習の中に、ひとり学習で調べたことを発表する機会を全員に与え、ひとり学習の内容が深まるようにした。

(5) 学習のまとめを、一人一人にしきりまとめさせ、学習がより定着するよう配慮した。

○ 課題に沿ったまとめをさせたり、学習の仕方としての技能をまとめさせたりした。

(6) 一人一人のめざす姿と、一人一人の本時のねらい、さらに一人一人の評価とを関連づけて指導した。

(7) 単元を通して記録したものから、児童一人一人の本単元における学習のようすや到達の状況を調べ、評価

(1) 研究の成果

児童が主体的に学習に取り組めるようにするために、教材の提示、学習課題づくりなどに工夫が見られるようになってきた。

(2) 児童一人一人を生かし、個に応じた指導を進めるために、「個に応じた指導のための記録」の累積をはかり、一人一人を伸ばす指導が行われるようになってきた。

(3) 自分の考えを大切にし、友だちの意見も取り入れながら、学習課題の解決のために真剣に取り組み、わからまでがんばろうとする児童が見られるようになってきた。

(2) 今後の課題

### 一、主題設定の理由

充実した学校生活の基本条件は、毎日の授業において、一人一人の生徒に学習が成立するところにある。本来、

生徒は自ら学び、向上しようとするとする意欲をもっている。しかし、本校の生徒の中には、学習に意欲的に取り組めないでいる生徒も少なくない。

そこで、生徒の意欲を阻害している要因を客観的に把握するために、KJ法によるグループ討議や種々の実態調査を実施した。

その結果をまとめると、次のようになる。

○ 全体として自主性や自律性が育っていない。

○ 着実にやり抜く意志や忍耐力が弱い。

○ 目標に向かって努力したり、向上しようとする意欲が不十分である。

### 学習意欲を育てる授業を実現するための指導計画の改善

一自ら学び、向上しようとする意欲をどう育てるか

郡山市立郡山第三中学校